

# 第51回 番組審議会議事録

1. 開催日時 令和3年4月7日 午後3時から
2. 開催場所 よこてイースト 会議室
3. 委員出席  
委員総数 5名  
出席委員数 5名  
欠席委員 0名

出席委員	岡部 えり子	委員長
	佐々木 隆一	副委員長
	土田 百合子	委員
	菊地 清志	委員
	辻 正憲	委員

◎横手コミュニティ FM 放送株式会社

出席者 4名

奥山 和彦	代表取締役社長
高橋 雅博	支援室長
小笠原 豊	放送局長/番組審議会事務局
細川 正実	営業部/番組審議会事務局

(1) 4月課題審議 審議番組

『3.11 あの日を忘れない』

(令和3年3月11日 木曜日 午後1時～ 放送分)

(2) その他

4. 審議事項

(1) ①審議番組 『3.11 あの日を忘れない』について

【辻委員】

- ・大手のメディアももちろん震災について取り上げるのですが、地元で記憶を風化させない努力をすることは敬意を表したい。
  - ・この地震の他にも、豪雨やコロナや豪雪があり、自然が猛威を奮っていてともすれば忘れてしまいがちな中で、釜石市長などの声を集めたことは大切なことをしたなと思った。
  - ・可能であれば、ひとりひとりが10分お話しするのもいいのですが、例えば「あの時」というようなテーマに沿って、～と横手市長が語って、それに対して釜石市長はというようなつながりというか流れを作ると、また吸い込まれるように聴いてもらえるのではないかと。
- (編集する際、ナレーションのカバーしながら)
- ・横手市に特化しているという強みを生かし、基幹産業である農業今後も豪雪地帯での課題などをこれからも地域にとっての情報を伝えてもらいたい。

【土田委員】

- ・FMがどのように災害に対応したか、重要な記録を放送してくれた。
- ・力強いNPO団体があるのは感心した。
- ・曲をもうちょっと入れたほうがよかった。
- ・ZOOMの音声ははっきりしていた。
- ・FMの自動販売機の情報は普段の放送でも告知するべき。

【石川委員】

- ・市長のご苦勞や共助の姿勢など当時、我々が気づかなかったことを知ることができた。
- ・どんな思いで、今にどのように繋がっているのかを踏み込んで聞いてもらいたかった。
- ・金沢地区にある共助組織についても触れて欲しかった。
- ・防災グッズや防災マップなども紹介があったほうがよかったのでは？

【佐々木副委員長】

- ・構成も企画もちゃんとしていて
- ・これからのことも話していて、啓発的な番組になっていた。
- ・「～のご協力で」でスポンサー読みを始めると、まだか？まだか？という感じが緩和されるのでは？
- ・釜石市長の紹介や、釜石市の被害状況なども紹介してほしかった。

- ・BGM が暗い、大きい。
- ・良い番組だったので広く聴いて欲しかったがどのように告知したか？市報などに掲載してはどうだったか？

#### 【岡部委員長】

- ・非常にいい内容だったなと思った。
- ・リスナーを増やすアイデアとして、市民の声を拾うというところがあればと思う。  
メールや、学校通してでも。今回のように大物を 10 分ずつというのも核としてあっても、合間に市民の声を入れればその人のまわりは聴いてくれるであろうと思うのでやってもらいたい。

#### 《会社側からの回答》

##### 【放送局長 小笠原豊】

- ・スポンサー紹介の件はぜひ取り入れたい。
- ・釜石市の紹介なども入れてもよかったと思う。
- ・ZOOM は普通の電話中継よりも、音質がよかったので今後も活用していきたい。
- ・番宣は、市報・ラジオ・SNS で告知した。

#### 4. その他番組への意見

##### 【佐々木委員】

・地元として頼りになるラジオになっていきたいということだったが、横手のことをやっているかと思ったときにやってなくて裏切られたこともある。3月20日に地震があったがラジオをつけたらなにもやっていなかった。こういうときに放送することでかまくら FM をきいてもらう機会なのになにもなかったと思う。

##### 【小笠原放送局長】

・2月13日深夜、3月20日、ともに横手市と連携をとりながら放送は行った。  
ただし、土曜日でスタジオに誰もいなかったために直後には放送できない状態だったが、当社規定の震度4での招集が行われ、放送することができた。  
・他にも最近、これまでずっと断られていた「東北電力の情報」も放送できるようになり、停電情報もスムーズにお伝えできるようになった。

##### 【奥山代表取締役社長】

・ゲリラ豪雨も増えているので放送したい。

##### 【石川委員】

・防災に特化した形で始まったラジオなので、もう少し頻繁に河川や電気の情報なども放送してもらいたい。災害と隣り合わせであることを常に忘れないようにしたい。

【小笠原放送局長】

- ・情報をいただければ放送をしている。また、防災インフォメーションという毎週のコーナーもある。また、毎年9月の防災の日に合わせて放送している番組の中では、防災グッズやマップの話などもしている。

5. 意見の概要の公表

公表の方法 自社ホームページ（URL）への掲載

公表の案内 議事の概要

公表年月日 令和3年4月14日

6. 次回審議番組

「未定」

7. 備考 5月、6月、7月は休会とし、次回は8月に開催予定。